

理事長挨拶

学校法人 加計学園
理事長・総長 加計 晃太郎



岡山理科大学はビジョン2026で宣言した「学生の成長に主眼をおく人材育成拠点」として、2017年度には経営学部を設置し、2018年度には獣医学部を愛媛県今治市に設置いたします。我が国においては52年ぶりに新設となる獣医学部では、先端ライフサイエンス研究に獣医学的見地からアプローチし、革新的な創薬・医療機器開発に貢献できる人材や人獣共通感染症など新たなリスクに対応できる国際的に通用する人材育成を通して社会に貢献したいと考えています。

また、岡山理科大学附属高等学校では、2017年に岡山県初の国際バカロレアDP候補校となったのを機に従来のクラス編成を大きく見直し、既設の教育学科に加えて新たに普通科に「グローバルサイエンスコース」「インターナショナルコース」「スポーツサイエンスコース」を設置し、SSH事業で取り組んだ高大接続や課題研究、国際交流の実績を踏まえ、世界で活躍できる素養を身につけた人材育成を目標にして参ります。

この度の獣医学部新設及び高等学校のコース改編は将来を見据えた大胆な事業展開であり、これを契機に国際性を身につけた人材の育成に取り組む教育研究体制を一層充実させ、既設校との連携により相乗効果を図っていく方針です。また、既設校においては選択と集中によって、学部学科の改組、新コースの設置及び地元地域や産業界との連携を深め、学長、校長のリーダーシップのもとビジョンに基づく中長期目標の実現を通して教育研究拠点としての取り組みを積極的に推進し、地域貢献、社会貢献、ひいてはグローバルな視野に立った国際貢献に尽力して参りたいと思っています。

我が国は人口減少・高齢化の進展、急速な技術革新による第4次産業革命、グローバル化の進展と国際的な地位の低下、子供の貧困など社会経済的な課題、地域間格差などの取り組むべき課題などが山積しています。これに対し、現在、中央教育審議会において第3期教育振興基本計画の策定が進められており、2030年以降の社会を展望した教育政策の重点事項に「人生100年時代」、「超スマート社会」、「『可能性とチャンス』の最大化」をキーワードとして取り組むことが示されています。一方、本学園は今日まで『時代の要請』と『地域の要請』により高校、大学、専門学校を設置し、様々な分野での教育研究を通して社会で貢献できる人材を養成して参りました。今後とも将来を見据え、時代を先取りした教育事業を展開し、社会の持続的な発展を牽引する多様な人材を養成して参りたいと思います。

さらに、2020年度から始まる18歳人口の急減期に備え、財政基盤の健全化に努めるとともに、中長期目標を内部監査機能と連動させてコンプライアンスの強化を図り、継続可能な私学経営の樹立に注力し、予測困難と言われる時代に着実な歩みを進めて参りたいと考えています。